事例No.	1168
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	埼玉県さいたま市

事例区分	一般行政

タグ	・情報公開 ・（行政改革）業務の効率化 ・組織改革

事例種類	自治体間連携

事例内容・タイトル

自治体間連携による木材利用・普及啓発

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

自治体間連携

埼玉県　さいたま市（自治体間連携による木材利用・普及啓発）

- さいたま市は、都市部の自治体であり、市内に森林は散見される程度である。そのため、市有施設の木質化や普及啓発を通じた木材利用の推進に取り組んでおり、森林環境譲与税についても同様の事業に充てていく方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により、普及啓発活動を行った。
  - 市内を流れる荒川の流域自治体、かつ林産地（西川材）である飯能市と連携し、本市市内で開催されたイベントに協働で出展した。
  - 出展に際しては、森林の多面的機能についての周知・啓発の他、木の温かみ・温もりを感じられる機会の提供、VRを活用した広報等を行うとともに、西川産材（飯能市産）の魅力をPRした。
  - 令和２年度以降についても引き続き上流域自治体と協働でのイベント出展を行っていく予定。

□　事業内容

1　飯能市（上流域自治体）とのイベント協働出展

上流域自治体と協働で出展することで、森林の多面的機能について効果的に周知するとともに、木材利用の促進を図る、また上流域自治体のシティセールスの機会を創出する。

- 大宮区民ふれあいフェア（会場：大宮区鐘塚公園（大宮駅付近））

【事　業　費】100千円（全額譲与税）

【実　　績】ブース来場者　約500人

2　出展内容



【さいたま市】

・森林啓発パネル展示

・啓発品の配布

【飯　能　市】

・木の香り体験

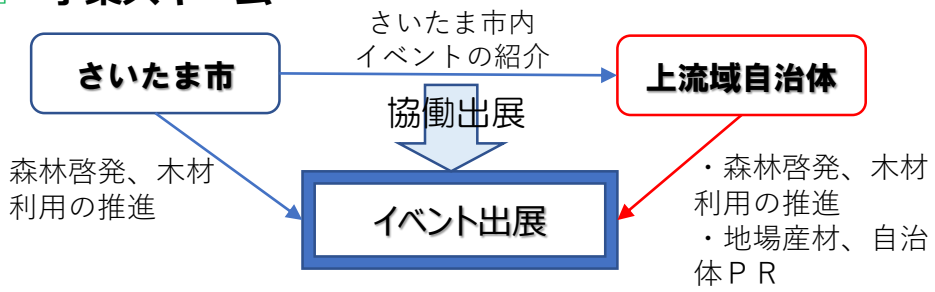
・西川産材いす等の展示、はしらベンチの設置

・森林ＶＲ体験





□　事業スキーム



□　今後について

引き続き、上流域自治体に向けて、イベント出展のご案内を行うとともに、出展自治体・機会を増やしていく予定。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	48,530千円
②私有林人工林面積（※１）	13ha
③林野率（※２）	2.1%
④人口（※３）	1,263,979人
⑤林業就業者数（※４）	16人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」